



マスク着用 熱中症注意

夏本番に向け日々の暑さが増す中、新型コロナウイルス感染対策で着用するマスクの影響による熱中症が危険視されている。呼吸で熱や湿気がこもりやすく、体温上昇や脱水症状を引き起こす恐れがある。感染症対策にマスクは不可欠。県健康づくり支援課は「小まめな水分補給や冷房器具の使用を例年以上に心掛け、屋外で人と2メートル以上の距離を確保できる場合は外しても構わない」と話している。

大分地方気象台や日田玖珠広域消防本部によると、県内は5月、最高気温が30

新型コロナ

度以上の真夏日を7日間観測した。日田では全国1位の最高気温を2回記録。同日までに熱中症の疑いで6人が搬送された。県内は6月以降も気温が上がり、平年の夏より暑くなる見込みという。最高気温が27・0度（平均25・3度）を記録した今月2日午後の大分市。市街



マスクを着用しながら上着を脱ぐなどして歩く人たち＝2日午前、大分市のJR大分駅前、撮影・首藤洋平

地を行き交う人はほとんどがマスク姿だった。中央町の若草公園で5歳の息子を遊ばせていた同市明野高尾の会社員河村まゆさん(29)は遊んでいると暑くなり、すぐにマスクを外してしまふ。感染は怖いのが、夏が近づくと熱中症も無視できない」と不安をこぼす。

熱中症の症状は頭痛、目

県のもともとは、昨年5月に県内で72人が熱中症の疑いで搬送された。65歳以上の高齢者が6割近くを占め、統計開始前の4月上旬には80代の女性が死亡。長期の入院を伴う重症者は9人だった。

まい、吐き気、体のだるさなど。自分で体調管理ができない子どもや、体力が低下している高齢者は特にリスクが高いとされる。

同市中心部の幼稚園は県や市の示す感染対策基準に従い、乳児を除き園内でのマスク着用を徹底している。男性園長(47)は「子どもはよく動いて汗をかくし、地面に近いので熱も感じやすい。体調の変化に注意して見守っている」。

高齢者も認知機能の低下に伴い、喉の渇きや室内の温度上昇に気づきにくくなるケースがある。苦しもうにしているか、周囲の見守りが大切だ。

県は予防策として▽帽子や涼しい衣服の使用、着用▽小まめな水分補給などを挙げる。医師の藤内修二・同課長(62)は「感染を広げないためにマスクは重要だが、熱中症になれば命に関わる。着用しただけで、柔軟に対応してほしい」と呼び掛けている。

(三井祥聖、中村みを)

夏本番に向け日々の暑さが増す中、新型コロナウイルス感染対策で着用するマスクの影響による熱中症が危険視されています。

2020年6月4日付
大分合同新聞 23面

①マスクの影響による熱中症が危険視されているのはなぜですか？

②記事の横見出しには例年以上に心掛けること（上段）、特に見守る必要がある年代（下段）が書かれています。見出しの○に入る言葉を考えましょう。

○○○○や○○使用を →

○○○や○○○見守り →

③県健康づくり支援課は一定の条件を満たす場合はマスクを外しても構わないとしています。それはどんな場合でしょうか？

④担当の藤内修二課長は何と呼び掛けていますか？